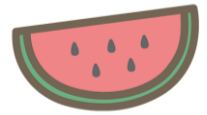




5期生教育コース通信



第3号（2023. 7月②）

今回は本校に愛知教育大学の教授をお招きして、下記の日程で、講義をしていただきました。まずは自分たちが英語の活動をして、楽しい授業とはどんなものかということについて考えました。動機づけには「外発的動機づけ」と「内発的動機づけ」があり、内発的動機づけのほうが継続性があるため、自分が将来受け持つ生徒たちが内発的・自律的に学習に向かえるようにするにはどうしたらよいかを考え、また、良い授業をするには自らの成長が不可欠であるとする貴重な機会となりました。

- ★ 日時 2023年7月14日（金）13:40～15:30
- ★ 場所 本校 2-4教室
- ★ 科目 2年「教育英語」
- ★ 内容 「英語教育～動機づけから～」
- ★ 講師 愛知教育大学 外国語教育講座 建内高昭 教授



<活動の様子>



<生徒の感想より>

どうしたら生徒がやる気になってくれるのかは、生徒が「うまくいった!」や「うまくいかなかった」の経験からなる有能性の経験からなる有能性の欲求などの心理的欲求をうまく引き出していくことが重要だと思った。

何か新しいことを始めるときに、初めはやりたくないと思っても周りの友達の影響や環境によってモチベーションが上がることもあるので、途中でやめてしまうのではなく、自分で動機づけを探していこうと思いました。学習面においても、やり取りや有能感から動機づけが来るので、他者との関わりを大切にしていこうと思いました。

「夏休みの学習支援活動」では、ただ宿題のわからないところを教えてあげるだけでなく、やる気を出させてあげることによって3つの欲求を満たしてあげたいと思った。「仕方がないから宿題をする」から「できるようになったから宿題をする」という気持ちに変えるために何がしてあげられるか、少しでも考えて活動していきたい。